

現場部局

福祉局 子供・子育て支援部

スタートアップ

株式会社FISTBUMP

協働テーマ

児童相談所と施設等をつなぐ情報共有や入所マッチングの新たな仕組みを構築したい！
入所状況をリアルタイムに見える化できるツールの構築

■ 現場課題

課題詳細

児童相談所と児童養護施設等の間で、
「Ⅰどの施設が Ⅱどの程度空きがあり Ⅲどのような児童を何人受入可能か」に関する情報がタイムリーに共有されておらず、これにより一時保護期間の長期化、職員の業務負担や職員間の業務の非効率化が発生

課題解決による 想定成果・効果

児童相談所と児童養護施設間で「課題詳細 Ⅰ～Ⅲ」の情報がリアルタイムに把握可能になることで、
①業務負担の軽減 ②利便性の向上 ③入所までの時間短縮が実現することが期待される

■ プロジェクト概要

課題に対する ソリューション

複雑なコミュニケーションを要する組織間をつなぐことができるクラウドサービス『CloudBalance』を提供
各施設の入所状況や入所可能情報などの情報共有やコミュニケーションを可能とし、上記成果の達成を目指す

協働 プロジェクト 内容

- 期間 開発・デモ提供・課題抽出：12月～1月 ハンズオン開発・試行実施：2月
 - 対象 東京都福祉局、東京都・特別区児童相談所計20か所、児童養護施設66か所
 - 実施事項
 - ◆ 在籍・入所可能状況アプリ作成、児童養護施設職員による入所状況のリアルタイム更新
 - ◆ 児童相談所職員による上記アプリ及び付随機能を利用した入所状況の確認・入所相談の連絡
 - ◆ デモや試行において聴取したアプリに関する要望について、システムに反映・実装
- あわせて、試行実施後、児童相談所や施設にアンケート調査を実施し、業務負担の軽減を感じられたか等を調査

成果

現場での課題を踏まえ、サイボウズ社kintoneをインフラとした『児童養護施設と児童相談所で利用できるクラウドサービス』のツール開発を完成させた。これにより、児童養護施設の入所状況や入所相談の可否がほぼリアルタイムで確認することが可能となった。

試行実施後のアンケートでは、児童相談所職員の**81%**、児童養護施設職員の**67%**が期待できるとの結果となっていることから、今後、現場において実践的にツールの活用すること可能である。

さらに、アンケートの結果からも、ツールを活用することにより、職員間の業務の効率化、業務負担軽減という効果が期待できる

実際のシステム画面

<<一覧画面>>

状況	施設名	定員	在籍	停止	合計
入所相談NG		30	20	0	20
入所相談NG		35	35	0	35
入所相談NG		30	27	1	28
入所相談NG		40	37	0	37
入所相談OKだけど事情あり		40	38	0	38
入所相談NG		24	21	0	21
入所相談OKだけど事情あり		45	35	0	35
入所相談OKだけど事情あり		36	33	0	33

<<入所状況の可視化>>

1. 入所状況									
～ 本署	定員	在籍	停止	合計	一時保護	定員(在籍合計+一時保護)	入所率	空き定員	
	35	35	0	35	0	0	100.0%	0	
～ 地域小規模	定員(小)	在籍(小)	停止(小)	合計(小)	一時保護(小)	定員(在籍合計+一時保護(小))	入所率(小)	空き定員(小)	
	20	19	2	21	0	1	105.0%	-1	
～ 総数	定員(計)	在籍(計)	停止(計)	合計(計)	一時保護(計)	定員(在籍合計+一時保護(計))	入所率(計)	空き定員(計)	
	55	54	2	56	0	36	101.8%	-1	

2. 受入可能児童数				
		受入可能児童数合計(本署)	受入可能児童数合計(小)	
		5人	3人	
受入可能児童数入力パターン3				
施設	性別	受け入れ可能時期	受け入れ可能年齢	年齢
本署	男	随時	年 月	3歳未満
<入所予定等(施設側の希望など)>				
本署				地域小規模
〇〇児童相談所から入所打診あり (〇月〇日)				

3. 本署入所状況詳細

本署入所状況詳細									
施設	ユニット名		定員	3歳未満(男)	3歳未満(女)	幼児(男)	幼児(女)	小1～3(男)	小1～3(女)
小規模GC			6						
小規模GC			6						
小規模GC			6						
小規模GC			6						
小規模GC地域型H			6						